

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床病理学Ⅰ	1年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	高田 俊範 ※
授 業 概 要					
<p>疾病の成り立ちや症状、診断のための検査・治療について学び、健康障害時の人間の反応を理解する。この内容は、健康障害がある対象への看護実践の上でも、疾病予防や健康増進の上でも、大変重要な基礎となる学問である。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. 各臓器・器官の代表的な疾患について病態生理及び症状を説明する。 2. 代表的な消化器疾患・呼吸器疾患の検査・診断・治療法・予防法について説明する。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1-8	<p>1. 消化器疾患 代表的な消化器疾患の症状と病態生理/検査と治療・処置/予後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消化管の構造と機能 ・食道の疾患（食道癌/胃食道逆流症/食道・胃静脈瘤） ・胃・十二指腸の疾患 (<i>H. pylori</i>感染症/慢性胃炎/胃・十二指腸潰瘍/胃癌) ・小腸・大腸の疾患(クローン病/潰瘍性大腸炎/イレウス/急性虫垂炎/腹膜炎/過敏性腸症候群/大腸癌) ・肝臓の疾患（肝炎/肝硬変/門脈圧亢進症/肝癌） ・胆道・膵臓の疾患（胆石症/胆道感染症/胆道癌/膵炎/膵癌） 				<p>須田 剛士 ※ 他</p>
9-15	<p>2. 呼吸器疾患 代表的な呼吸器疾患の症状と病態生理/検査と治療・処置/予後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肺炎/肺結核 ・気管支喘息/気管支拡張症/肺線維症/肺気腫 ・肺腫瘍 ・気胸 				<p>高田 俊範 ※</p>
学 習 方 法					
<p>講義中心に進める。各疾患を学ぶ事前学習として解剖学・生理学等の復習を行っておくこと。また、各学習内容の予習を行い、主体的に講義に臨むこと。テキストをしっかりと読みましょう。</p>					
評 価 方 法					
<p>[評価方法] 科目修了試験</p>					
先 修 科 目					
<p>なし</p>					
教 科 書、参 考 書					
<p>[教科書] 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [5] 消化器 松田明子 他著 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [2] 呼吸器 川村雅文 他著 医学書院</p>					